

# CONTENTS

<b>1. まずはじめに</b> .....	<b>2</b>
(1) 過去、アドリブに挫折した皆様へ	
(2) 本書の趣旨	
(3) 焦らない、焦らない…	
<b>2. じゃあ実際にアドリブを考えてみよう</b> .....	<b>6</b>
(1) アドリブとは？	
(2) コード進行に沿ったメロディーとは？	
(3) 即興で作ったメロディーとは？	
<b>3. まずは白鍵だけでアドリブしてみよう！</b> .....	<b>8</b>
(1) スワニー河 (in C)	
(2) スワニー河 (in F)	
<b>4. マイナー・キーでのアドリブ</b> .....	<b>23</b>
(1) 黒い瞳 (in Am)	
(2) 3つのマイナースケール	
<b>5. トゥー・ファイブ</b> .....	<b>29</b>
(1) トゥー・ファイブとは？	
(2) 丸暗記してしまえ！	
(3) プチ転調	
<b>6. トゥー・ファイブ・ワン</b> .....	<b>37</b>
(1) 5度下のキーに転調	
(2) トゥー・ファイブ・ワン	
<b>7. もう一度スワニー河に戻って</b> .....	<b>45</b>
(1) 各コードのキーとスケールを考えよう	
(2) そのスケールを使ってアドリブしよう！	
(3) もっとメロディアスに弾こう	
<b>8. では実際のスタンダードではどうなっていくの？</b> .....	<b>52</b>
<b>9. トゥー・ファイブの次のコード</b> .....	<b>58</b>
(1) トゥー・ファイブの後Im7に進行する時	
(2) トゥー・ファイブの後I7に進行する時	
<b>10. トゥー・ファイブ以外のコード進行はどう考えるの？</b> .....	<b>72</b>
<b>11. アドリブメソッド・フォー・ジャズピアノの使い方</b> .....	<b>74</b>
(1) アドリブメソッドとは…	
(2) メソッドの練習の仕方	

# 1. まずはじめに…

## (1) 過去、アドリブに挫折した皆様へ

これまで、私は、何人もの生徒さんを指導してきました。

「ジャズ・ピアノを勉強したい!」という生徒さんのほとんどは、過去にピアノを弾いていた方で、中には音楽大学まで卒業されている方も何人かいらっしゃいました。

私なんかにとっては、クラシックの曲を演奏する方が何十倍も大変だと思ってしまうのですが、多くの生徒さん達は「ジャズの方が難しい」とおっしゃいます。

「では、クラシックと比べると、ジャズのどこが難しいのだろう?」

と考えると、クラシックには無い以下の2つの事がポイントになると思います。

### ① コード・ネーム (あるいはテンション)

### ② アドリブ

上記のうち、「①コード・ネーム (あるいはテンション)」については、中央アート出版社から刊行されている私の著書、「Dr. カワシマのわたしにもジャズが弾けた!」という本の中で詳しく説明しております。もしも興味のある方は、こちらをご覧くださいになることをお勧めします。

さて、本書のテーマは、ずばり「アドリブ」です!

きっと皆様は、「どうしてジャズ・ピアニストが、譜面に書いていないような事を勝手に弾けるのか?」という事を疑問に思っているのだと思います。

また、皆様の中には、すでに何らかの手段でアドリブの事を勉強したことがある…という方も多いかと思えます。

理論書で勉強しました…という方も多いでしょう。

しかし、いきなりアイオニアン・スケールだの、ドリアン・スケールだの、なんちゃらスケールが鬼の様に出てきて、しかもそれが12キーで存在するわけですから、それを覚えなければならない…となると、全くやる気が出なくなってしまいますね。

もちろんジャズには「理論」というものがあり、ジャズ・ミュージシャンがアドリブで色々やることを系統づけるには、やはり文字での説明が必須になってきます。しかし、理論をどれだけ勉強したところで、実際にピアノを弾く指でそれを実現できなく

ては、何の意味もありません。

かくいう私も、理論を勉強しだしたのは、恥ずかしながらプロになってからです。プロ奏者になり、やがては生徒さんが来て下さいますようになったときに、やはり物事を「理論的にも」説明できなくては…と思い、勉強しだしたのです。

面白いことに、理論を勉強していくと、自分が無意識で演奏していたことが、理論的にもそんなに間違っていなかったんだな…と思いました。

つまり、実際に演奏する上では、間違った音さえ出さなければ、理論を勉強する事は、それほど重要ではない、必要ではないという事だったのだと思います。

あとは、「じゃあ実践だ」という事で、ライブハウスの初心者セッションなんかに顔を出した事がある人も多いでしょう。そういったセッションでは、その日のテーマとして決めた曲を、何回も演奏したりして、徹底的に1曲を勉強することが多いようです。

こういうセッションで、人前で間違えて恥をかくのも勉強のうちですから、初心者セッションというのも大切だと思います。

私もセッションで何回冷や汗をかいたことか…。

(ここだけの話ですが、今でも年に1回くらいは冷や汗かいています…。)

あと、ジャズの「場の空気」を感じ、また慣れるのにもいいと思います。

でもアドリブが出来る様になる…という意味においては、「全然ピンと来なかった」という方も多いと思います。きちんとアドリブが出来るようになりたいのであれば、そういうセッションだけでは不十分です。セッションでは、指導的な立場の人から具体的な説明というか指導を受けることはほとんどなく、せいぜい今の演奏が「良かった」か「悪かった」くらいしか言ってもらえません。

まあそういうわけで、本書を手にしていただいたみなさまは、色んな経緯を経て、今日の日を迎えられたのだと思います。

## (2) 本書の趣旨

本書では、とにかく「やさしく」講義していきたいと思います。

しかし、どういう風に「やさしく」したら良いのか…私は今回の執筆のお話を受けて何日か考えました。そして、結論として、

・ダサくてもいいから、間違いの無いアドリブを出来る様になってもらおう！

・階段を一步一步上って行ってもらおう

という結論に至りました。

そのために説明の仕方も、数ある理論書、教則本とは違った切り口で、もっと分かりやすくお話ししていきたいと思えます。ただ、真実は1つというか、切り口は違いますが、最終的な内容は、現在普通に出回っている理論書、教則本と大きく変わることはありません。

さて、私の所に多くの生徒さんが来ます。

そして生徒のみなさんには、アドリブを基礎から教えさせて頂くわけです。ですが、アドリブの基礎を学んでいて、みなさん口を揃えておっしゃるのは、「そういうアドリブはダサい！」

とか、

「先生みたいなカッコいいアドリブが出来る様に教えてください！」

という事なのです。

しかし、考えてもみて下さい。今日までアドリブの「ア」の字も出来なかった方が、たった1時間のレッスンでカッコいいアドリブが出来るわけが無いのです。もし出来る方がいらっしゃいましたら、それは相当な天才ですし、私になんか習わなくても、きっと将来、日本を引っ張っていくようなジャズ・ピアニストになれるのではないのでしょうか？

とにかく、どんな芸事でも最初の一步はダサいものです。

しかし、「基本にそったアドリブがダサい」という事と、「間違った音を出す」ことは全然違います。最初のうちにダサくてもきちんと正しい音を出す癖を身に付けておけば、今はダサくても、将来「カッコいい」音を出す事にはきっと役立つでしょう。とにかく、階段は一步一步上っていくしか、他に方法は無い訳です。

ですから本書では、他の多くの理論書や教則本の様に、1冊の本でカッコいいアドリブが出来る様になる事を目標にし、全ての内容を駆け足で説明する…という事ではなく、アドリブの最初の一步（二歩？）だけを学ぶ…という事に内容を絞って、その分じっくりとお話ししていきたいと思えます。

### (3) 焦らない、焦らない…

本題に入る前に、みなさんがつい焦ってしまうポイントを2つ程書き留めてさせて頂きたいと思います。焦らないで一步一步前進してください。

#### ・初見にこだわらない

みなさんのお知り合いの中にもいらっしゃるかもしれませんが、ちょっとジャズに慣れてきた感じのピアニストの方が、セッション等において、知らない曲でも譜面を見て初見でスラスラ弾いてしまう…という状況を目にすると、初心者の方はかなり焦るのだそうです。

でも、焦らないで下さい。最初からそんなこと出来るわけがないのです。まずは、好きな曲から**1曲1曲時間をかけて研究していく**ことです。その積み重ねが、将来、「初見ですらすら弾ける」という事になるのです。

#### ・キーのやさしい曲から勉強する

皆様、まずはどうしても、セッションなどで頻繁に演奏されている曲を弾きたくなくなってしまふのだそうです。で、そして弾けない自分に焦ってしまうのだそうです。セッションで演奏される曲のキーというのは、必ずしも初心者の方が演奏しやすいキーとは限りません。

キーというのは、やはりCが一番易しく、bや#の数が増えるにつれて、それなりに難しくなっていきます。考えてみれば、Cのキーでも満足にアドリブがとれないのに、Eb(b3つ)やAb(b4つ)のキーで弾ける訳が無いのです。

最初は出来るだけ焦らないで、CやFの曲から練習してみましよう。慣れてきたらBbやEbも練習していけばいいのです。

## 2. じゃあ実際にアドリブを考えてみよう

では、ここからが本論です。

### (1) アドリブとは？

それでは、アドリブとは一体何なのでしょう？

奥が深いテーマですので、これで一冊本が書けそうな内容ですが、この講座では単に、「**コード進行に沿って、即興で作ったメロディーを演奏する**」という事にしましょう。

ですから、フリージャズやクラシックの即興演奏の様に、何も無い所から音楽を生み出す…というのとは少し違います。

### (2) コード進行に沿ったメロディーとは？

では、コード進行に沿ったメロディーって、何でしょうか？

ここで重要なのは、「**コード進行**」という事です。

**コード進行**というのは、とあるコードから次のコードに進んでいく、一連のコードの流れです。

逆にその一連のコードの流れを一括りにしたものを**コード進行**と言ってもいいでしょう。

アドリブが出来ない…とお悩みの皆様に共通しているのが、コードを1つ1つ見ながら、それに対してのアドリブのメロディーを考えてしまい、結局自分は何をしているか分からなくなる…という事が挙げられます。

しかし、**コード進行**というものをしっかり把握してしまえば、いくつかコードのまとまりを一つのモノとして捉える事が出来る様になります。

例えば、ジャズのコード進行で最も重要なものの1つに「**トゥー・ファイブ**」と呼ばれるものがあります。「**トゥー・ファイブ**」を克服する事がアドリブを克服する事とも言っても言い過ぎではないでしょう。

この「**コード進行**」および「**トゥー・ファイブ**」に関しましては、本書で取り上げる内容の大きなポイントになりますので、後々お話ししていきます。

### (3) 即興で作ったメロディーとは？

これは、字を見たままです。読んだままです（笑）。

通常アドリブのメロディーは、フレーズと言われる短いセンテンスがつながって構成されます。

ジャズのアドリブのフレーズというのは、先にお話しした**コード進行**に沿って、演奏者が自分で新しいメロディーをその場で作り出して演奏していきます。もちろんコード進行があるのですから、でたらめなフレーズを弾くと、コードのサウンドとは外れてしまいます。

言い換えれば、コード進行を見て、その中で許されている音を使って、自分のフレーズを自由に弾けばいいのです。許されている音…というのが、理論書等で大きな顔をしている「**スケール**」(音階)なのです。

大抵の人は、無限に存在していそうな、スケールの前に挫折してしまいます。

でも、この「スケール」という言葉、というか概念は、ある程度音楽というものを理解してしまうと、文字で音楽を語る上では便利この上なく便利なツールなのです。

ですから、多くの講師、教則本などの著者は、音楽を説明する上でスケールというものを多用するのでしょうかね。

### 3. まずは白鍵だけでアドリブしてみよう！

実は、キーがCで、コード進行がそれほど複雑でなければ、ピアノの白鍵だけでもアドリブが出来ます。

先ほども言った通り、カッコよくはないですし、あまりジャズっぽい感じにもならないのですが、基礎の基礎、とても重要な個所なので、焦らずにトライしてください。

#### (1) スワニー河 (in C)

それでは、次ページの(譜例-1)をご覧ください。

この曲は「スワニー河」という曲です。アメリカの作曲家、フォスターの作った名曲ですね。スイング・ジャズの時代の偉大なるバンド・リーダーだったトミー・ドーシー (tb) のビッグ・バンドの演奏でもおなじみの曲です。

この曲のキーは、譜面の各段の左端に# (シャープ) もb (フラット) も付いていないことからもお分かりかとは思いますが、C (ハ長調) です。

また、コードもほぼ原曲通りの大変シンプルなものが付いています。通常、ジャズスタイルでは、もう少し複雑なコードを付けるのですが、ここでは基礎の基礎を学んでいるので、これでやりたいと思います。また、ポイシングに関しても、基本形のみはかなり初心者向けのものですが、基礎の基礎ですので、ご理解ください。

まずはメロディーを弾いてみましょう。

家で練習するときは、必ずメトロノームに合わせて弾いてください。

なお、この項目でお話しする内容とは若干お話がそれるのですが、演奏のポイントを紹介します。このアレンジでは拍の裏で出てくる音符 (シンコペーション) が多いのですが、きちんとスイングすることを忘れないで弾いて下さい。シンプルな楽譜ですが、弾くのは結構大変です。



譜例-1

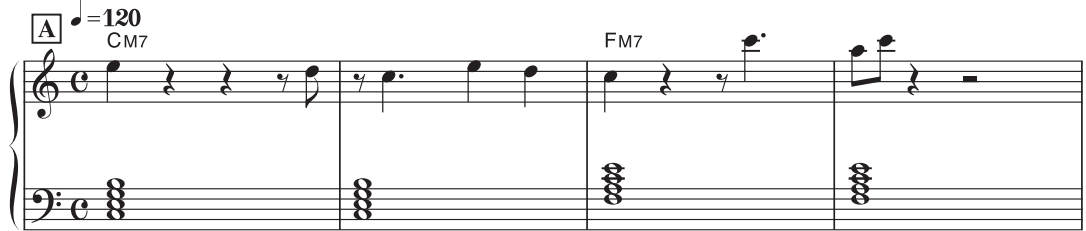
# Swanee River

## スワニー河

music by Bobby S. C. Foster  
Arr. by Shigeru Kawashima

Swing 

**A**  $\text{♩} = 120$   
CM7 FM7



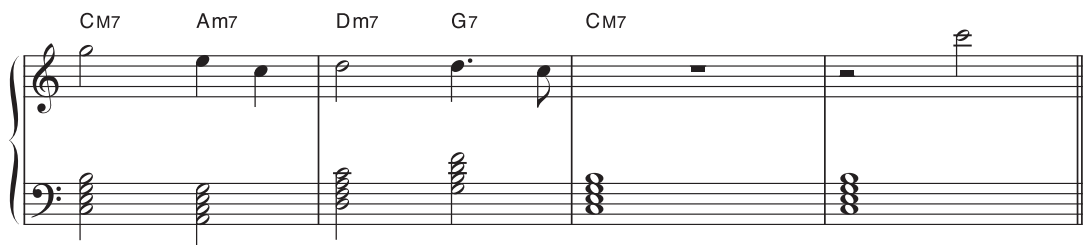
CM7 Am7 Dm7 G7



**B** CM7 FM7



CM7 Am7 Dm7 G7 CM7



# Swanee River

First system of musical notation for 'Swanee River'. It consists of two staves: a treble clef staff and a bass clef staff. The treble staff begins with a common time signature 'C' in a square box. The first two measures are marked with a 'G7' chord above the staff. The next two measures are marked with a 'CM7' chord above the staff. The bass staff contains a series of chords: a G7 chord in the first measure, a G7 chord in the second measure, a CM7 chord in the third measure, and a CM7 chord in the fourth measure.

Second system of musical notation for 'Swanee River'. It consists of two staves: a treble clef staff and a bass clef staff. The treble staff begins with an 'F' chord above the staff. The first two measures are marked with an 'F' chord above the staff. The next two measures are marked with a 'G7' chord above the staff. The bass staff contains a series of chords: an F chord in the first measure, an F chord in the second measure, a G7 chord in the third measure, and a G7 chord in the fourth measure.

Third system of musical notation for 'Swanee River'. It consists of two staves: a treble clef staff and a bass clef staff. The treble staff begins with a common time signature 'C' in a square box. The first two measures are marked with a 'CM7' chord above the staff. The next two measures are marked with an 'FM7' chord above the staff. The bass staff contains a series of chords: a CM7 chord in the first measure, a CM7 chord in the second measure, an FM7 chord in the third measure, and an FM7 chord in the fourth measure.

Fourth system of musical notation for 'Swanee River'. It consists of two staves: a treble clef staff and a bass clef staff. The treble staff begins with a common time signature 'C' in a square box. The first two measures are marked with a 'C' chord above the staff. The next two measures are marked with an 'Am7' chord above the staff. The next two measures are marked with a 'Dm7' chord above the staff. The next two measures are marked with a 'G7' chord above the staff. The final two measures are marked with a 'CM7' chord above the staff. The bass staff contains a series of chords: a C chord in the first measure, an Am7 chord in the second measure, a Dm7 chord in the third measure, a G7 chord in the fourth measure, a CM7 chord in the fifth measure, and a CM7 chord in the sixth measure.

いかがでしょう。

「簡単だし、ダサイ！！」

と思った方も多いのではないのでしょうか？

しかし、ここで焦って先に進もうとしないで下さい。1つ1つ確実にでないと、進歩しませんから。

では次に、このコード進行でアドリブをしてみましょう。

多くの教則本では、ここで、スケールの説明になる訳です。

例えば…、

コード上で使用するスケールを**アヴェイラブル・ノート・スケール**と言います。

CM7 のコード上では**アイオニアン・スケール**、FM7 のコード上では**リディアン・スケール**、G7 のコード上では**ミクソ・リディアン・スケール**…といった具合です。

もちろん、それぞれのスケールに名前が付いていて、それを覚えておくことは、将来的にはきっと役立つと思われます。ですが私は、いきなり耳に馴染みのない言葉を聴かされて、ここでつまづく人が続出する事実も知っています。

それに、答えを言ってしまうと、このコード進行上で使うスケールは、すべて白鍵だけのスケールです。(興味のある方は、理論書で調べてみて下さい。)

※(補足)理論にお詳しい方のために付け加えますと、もちろん、G7 のコード上でミクソ・リディアン・スケール以外のスケールを使用する場合は、黒鍵もたくさん出てきます。

ですが、ここは基礎の基礎をお話ししているので、とりあえずミクソ・リディアン・スケールのみで考えて下さい。

ですので、みなさん、何も恐れずに、白鍵だけを使って、自分のアドリブを弾くことにトライしてみましょう。

ちなみにアドリブ初心者が弾きそうなアドリブを、次ページの**(譜例-2)**に紹介します。みなさんも弾いてみて下さい。

あ、ちなみにここからは一段譜になります。左手の和音が欲しい方は、自力で両手の

譜例-2

# Swanee River

## スワニー河

music by Bobby S. C. Foster  
Arr. by Shigeru Kawashima

Swing 

**A**  $\text{♩} = 120$   
CM7 FM7

CM7 Am7 Dm7 G7

**B** CM7 FM7

CM7 Am7 Dm7 G7 CM7

**C** G7 CM7

FM7 G7

**D** CM7 FM7

CM7 Am7 Dm7 G7 CM7

楽譜を作成してみてください。これも重要な勉強です。

生まれて初めてアドリブを弾いています…という生徒さんのアドリブは、大抵こんな感じですよ。

いかがですか？

確かに、間違った音は出していない様なのですがあ…。

なんだか、ちょっと残念な感じですね。先ほどダサくても我慢してください…とは言ったのですが、これではちょっとつらいですね。

なぜ残念なのか？これには3つポイントがあります。

- ① ひたすら8分音符で弾いている
- ② コードのルート音からフレーズを始める
- ③ アヴォイド・ノートを連発している

では、1つ1つ見ていきましょう。

### ① ひたすら8分音符で弾いている

さて、アドリブというのは、先ほどこの様に定義しました。

#### 「コード進行に沿って、即興で作ったメロディーを演奏する」

さて、この「メロディー」…という事で考えると、要するに、その場で新しい曲を作曲するという事になります。

では、古今東西の曲のメロディーを眺めてみて、ひたすら8分音符で奏でられているメロディーがどれだけあるのでしょうか？

確かに、1940年代当時の、ジャズの最も新しいスタイルであったビ・バップと呼ばれるスタイルの曲の中には、8分音符中心のメロディー（リフものと呼ばれる曲）も多いのですが、ひたすら8分音符というのは、皆無だと思えます。

要するに、メロディアスではないのです。もっと歌のメロディーの様なフレーズで弾くようにした方が良いでしょう。

### ② コードのルート音からフレーズを始める

コード・ネームの音、例えばCというコードならば「ド(C)」の音を、そのコードのルート音と言います。本来であれば、一番間違いのない音なのですが、間違いがなさ過ぎて、一つも面白くない音になってしまいます。

ジャズは基本的に不良の音楽なので、こんな真面目君みたいな音は避けた方が無難です。

例えば**(譜例-2)**の5小節目からの4小節をご覧ください。

すべての音がルート音から始まっていることに気付くと思います。

なんか安いクラシックの曲の様なフレーズですね。

カッコいいフレーズを弾くコツとしては、フレーズの始めの音は、ルート音をなるべく避ける様に心がけると良いでしょう。

### ③ **アヴォイド・ノート**を連発している

では、次に、アヴォイド・ノートについてお話ししましょう。

アヴォイド (avoid) というのは英語で、「避ける」とか「回避する」という意味があります。ノート (Note) というのは、音楽においては「音」という意味もありますから、アヴォイド・ノートというのは、「避けるべき音」という事になります。

スケールの中の音なのに、避けた方がいい…というのも、どこか変な感じがしますが、これは、「**使ってはいけない音**」というわけではなく、「**なるべく使わない方がいい音**」くらいに考えておいた方が良いでしょう。

経過音 (メロディーの途中の音) として使う分には問題ないのですが、フレーズの頭の音、メインの音として使ったり、そのフレーズの終わりの音がアヴォイド・ノートだったりすると、少し残念な感じになるという事です。

次ページの**(譜例-3)**に、各コードにおけるアヴォイド・ノートを紹介しておきます。便宜的にスケール名を書いておきましたが、今は無視して結構です。

※**(補足)**今は無視しても結構ですが、皆さんが将来、ある程度理論を身に付けた時になって、**(譜例-3)**を見返したら、ここにスケール名が書いてあった意味がきっと分かると思います。

さて、こうしてみると、コードがCM7の時には「ファ (F)」の音、G7の時には「ド (C)」の音がアヴォイド・ノートである事が分かると思います。

さて、もう一度先程の**(譜例-2)**を見てみましょう。

### 譜例-3

アヴォイド・ノート……各スケールにおいてなるべく使わない方がいい音

The image displays musical notation for nine different scales, each associated with a specific chord. The scales are presented in three rows. In each scale, one note is circled to indicate it is an 'avoid note'.

- Row 1:**
  - CM7:** C Ionian scale. Avoid note: C (circled).
  - Dm7:** D Dorian scale. Avoid note: D (circled).
  - Em7:** E Phrygian scale. Avoid note: E (circled).
- Row 2:**
  - FM7:** F Lydian scale. Avoid note: F (circled).
  - G7:** G Mixolydian scale. Avoid note: G (circled).
  - Am7:** A Aeolian scale. Avoid note: A (circled).
- Row 3:**
  - Bm7<sup>(+5)</sup>:** B Locrian scale. Avoid note: B (circled).

1小節目のコードはCですが、いきなり「ファ(F)」の音でフレーズがスタートしていますね。もう残念な事この上ない感じです。8小節目のG7でも「ド(C)」の音が連発されていますね。この辺もかなり残念です。

ですが、9小節目(④の1小節目)の3拍目にもコードがCで「ファ(F)」の音が出てきますが、これはそんなに残念な感じがしません。むしろちょっとジャジーなフレーズです。

これは、「ファ(F)」の音がメインの音ではなくて、経過音として前後の音をつなぐ役割をしているからです。

17小節目(④の1小節目)のフレーズも、コードがG7なのにCで「ド(C)」の音がたくさん出てきますが、これもそんなに残念な感じがしませんね。やはり経過音として、前後の音をなめらかにつないでいる役目を果たしているからです。

ではここで参考までに、ここまでで学んだことを踏まえながら、(譜例-2)を元にした(譜例-4)で私の模範アドリブを紹介しておきたいと思います。元にはしていますが、やはり、かなり変えてはいますので、ご了承ください。

白鍵だけ使っても、こんなアドリブが取れるんだなあ…とっていただければ、とてもうれしく思います。



## コラム的な…

先ほど、アドリブのスケール習得について

**CDなどで好きなピアニストのフレーズをコピーしていくうちに、自然と身に付いたのだと思います。**

と言いました。

「自然と身に付いた」…というと、まるで何もしないうちに弾けるようになったみたいな言い方ですが、実際はそれとは真逆です。

食う、寝る、トイレ、風呂、バイト…以外の時間は、ほぼ全て練習に充てていました。特に、CDのコピーに力を入れていました。

聴くのも勉強です。

私は1,000枚くらいのジャズのCDを持っていますが、そのうちの800枚くらいは、駆け出し当時に買ったものです。今みたいにYouTubeもありませんから、レンタル屋さんで借りるか、そこにはないものは買って聴くしかなかったわけです。

更に付け加えますと、アーティスト達は、CDを熱い心と予算を込めて作っています。皆様も出来るだけ音楽を聴く手段としてはYouTube等だけで済ますのではなく、気に入ったCDがあれば買う様にして下さい。それが、アーティスト達にとっての生活の糧になるのです。また、やる気の元になるのです。出したCDが売れるから、また次のCDも作れるのです。

## 12. 最後に

やはりアドリブを身に付けるというのは、そんなに簡単なものではありません。

時間がかかるものです。

みなさんも、

「なんですぐ出来る様になんないんだろう～？」

なんて焦ったりせず、じっくり時間をかけて身に付けて下さい。

最後に、私の座右の銘を…

**練習しないものは上手くならない！**



## ■ 著者プロフィール

川島 茂(かわしま しげる)

生年月日：1968(昭和43)年1月16日

血液型：A型

昭和49年6月、ピアノのレッスンを開始。中学生のときテレビで見た映画「ベニィ・グッドマン物語」に影響を受け、独学でジャズを始める。大学時代はアマチュア活動としてライブハウスなどで活動するも、卒業とともに就職する。

しかし平成6年、26歳のとき、プロになる夢を捨てきれず、脱サラ。プロとしての活動を開始する。その後は、歌の伴奏、インスト両方をこなすピアニストとしてホテル、バー、ライブハウスなどで活動中。

## □川島 茂の好評既刊書□



### ◆アドリブメソッド・フォー・ジャズピアノ①

菊倍判 128頁 定価(本体1,700円+税)

第1章 3連のノリを身に付けるトレーニング/第2章 ブルーノートに親しむ/第3章 IIIm7→V7→Iに慣れる/第4章 IIIm7→V7→Iを極める(1)ミクソ・リディアン・スケール習得メソッド(2)Hmp5↓スケール習得メソッド(3)オルタード・スケール習得メソッド(4)コンディミ・スケール習得メソッド(5)リディアン7thスケール習得メソッド(6)ホール・トーンスケール習得メソッド



### ◆アドリブメソッド・フォー・ジャズピアノ②

菊倍判 144頁 定価(本体2,000円+税)

第5章 IIIm7(b5)→V7→Im7を極める(1)Hmp5↓スケール習得メソッド(2)オルタード・スケール習得メソッド/第6章 2拍ずつ変わるコード・パターンを極める(1)I→VI7→IIIm7→V7を極める(2)IIIm7→V7の連続使用を極める/第7章 更に高度な技術を身に付ける(1)左手でウォーキング・ベースを弾きながらIIIm7→V7→Iを弾く練習(2)アウトするっ! 習得メソッド/第8章 ポイシングを極める(1)クリシェする感覚を身に付ける練習(2)IIIm7→V7→I進行におけるコード・バックキック

## 川島茂ジャズ・ピアノ教室

私自身が、ジャズピアニストとして活動しているため、定期的なレッスン日を設けることが出来ず、完全予約制の個人レッスンのみ行っております。入会金1万円、1レッスン50分¥5,000-です。

ご興味のある方は、pianity@nifty.com まで、レッスン希望の旨ご連絡下さい。追って、詳しいレッスンの内容についてのメールを返信いたします。

Dr.カワシマのプロ技伝授!

## プロがやさしく教えるアドリブ講座

C140530-1 (1.0x)

2014年5月30日 初版第1刷発行

著者：川島 茂  
表紙：あーむ巧芸  
印刷：美研プリンティング株式会社



発行者：吉開 狭手臣  
発行所：GAD 中央アート出版社  
〒101-0031 東京都千代田区東神田1-11-4  
TEL 03-3861-2861(代表)  
FAX 03-3861-2862  
振替口座 00180-5-66324

小社への御意見・御希望は E-mail: info@chuoart.co.jp  
ホームページ: http://www.chuoart.co.jp

ISBN978-4-8136-0762-5

本書の無断複製・転載を禁じます。  
落丁・乱丁の際はお取替え致します。